

福岡ソフトバンク 2017年度新入団選手



古谷投手「49」披露

福岡で会見「人のためになれる選手に」

【福岡】プロ野球・福岡ソフトバンクホークスと正式契約した江陵高（幕別）3年の古谷優人投手（17）Ⅱドラフト会議2位指名Ⅱは22日午後、福岡ヤフオクドームに隣接のホテルで開かれた2017年度新入団選手発表記者会見に臨み、報道陣や招待された家族、ファンクラブ会員らに背番号「49」のユニホーム姿をお披露目した。100人以上が見守る中、古谷投手は「世のため、人のためになれるようなプロ野球選手になりたい」と思っている。応援よろしくお願いします」と力強く自己紹介した。

Hilton福岡シーホークホテルで行われた記者会見には、支配下選手の古谷投手、田中正義投手（同1位指名）ら4人と、育成選手6人が背番号付きのユニホーム姿で出席。新入団選手10人は1人ずつスポットライトを浴びて会見場に入

色紙に抱負を書いて発表する古谷投手（塩原真撮影）

り、出迎えた同球団の工藤公康監督とがっちり握手を交わした。 会見場のひな壇に、工藤監督を中心にして前列に支配下選手4人、後列に育成選手が着席。冒頭、直筆で目標とサインを入れた色紙を手にとり、それぞれ自己紹介をした後、報道陣らの質問に応じた。記者から「地元は北海道から一番遠い球団に

手の父輝紀さん（44）は「息子がプロ野球選手になったことを改めて実感した」と目を細めた。母理江さん（42）は「この場にいられることを息子に感謝したい」と喜び、妹みりあさん（9）は「お兄ちゃんのユニホーム姿、かっこいい」と笑顔を見せた。

会見後、古谷投手は十勝毎日新聞社の取材に応じ、十勝のファンに「1軍に上がって日本ハムファイターズと試合をやる時は、自分のスタイルで地元を盛り上げられるように頑張るので応援よろしくお願いします」とのメッセージを寄せた。（内形勝也）